HACHIOJI
JR東労組八王子地本
発行責任者
野中　広俊
2026／10／16
No.22

8月15日提出！！八地申第4号

「「山梨事業本部で計画運休により出勤時間に間に合わず欠在となった事象」に関する緊急申し入れ」を提出！

2026年9月7日、山梨事業本部乗務で組合員が計画運休により出勤時間に間に合わず欠在となる事象が発生しました。9月7日は大雨予報により、中央本線は高尾から小淵沢間において始発から18時頃まで運休になると前日の6日に発表されました。

計画運休により出勤時間に間に合わず欠在となる事象は、今年の6月3日の台風による計画運休時にも同様にされています。

当該組合員は6日に公休、7日は泊まり勤務で所定出勤時間は13時20分でした。前日に職場管理者から「明日は計画運休になる。前泊のお願いです、前泊できませんか。出勤時間に間に合わない部分は欠在になります。」と言われています。前泊か欠在かの二択しか選択肢が示されず、明確な指示がされていません。

しかし、当該組合員が前泊しない旨を伝えると「電車が動いたら来てください。」と指示ともとれるような発言がされています。電車が動いてから出勤した組合員は2時間37分の欠在となっています。職場で管理者からは「あらかじめ決まってい他運休だから障害にはならない。前泊できる部屋を提供している。」と言われています。

一方、前泊のお願いをしているにも関わらず、「自主的に前泊した」と現場長褒章が出されています。

前泊するか、出勤時間に間に合わず欠在にするかの二択を組合員に迫り、不利益を発生させている事態を看過できません。他に選択肢はなかったのか、なぜ示さなかったのか、明確な指示はなぜされないのか、課題が多くあります。「休みの日はしっかり休養を取るように」と管理者から日頃言われていますが、泊まり勤務にも関わらず、前泊しなければ出勤時間に間に合わないという状況は矛盾しています。就業規則と賃金規定を理由に欠在にすると会社は言っていますが、計画運休など社会通念上やむを得ない場合に配慮されるべきだと考えます。

組合員の健康、生活を守るため、取り扱いの是正を求めるために、以下の2項目を10月15日に申し入れました。団体交渉を通じ、組合員に不利益の無い、安全に働ける職場環境を創っていきます！

記

1. 計画運休時等に出勤時間に間に合わず欠在とした経緯と根拠を明らかにすること。
2. 計画運休時等に出勤時間に間に合わず欠在とする取り扱いを是正すること。

以上

不利益を生じさせない、安全に働ける職場環境を創り出すぞ！